

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
平成23年度第5回理事会 議事録

【開催日時】平成24年1月20日 午後1時30分から午後3時まで

【開催場所】ホテル日航東京「シリウス」 東京都港区台場1-9-1

【出席した理事】菊地臣一、加藤真介、加藤義治、川上紀明、川上 守、佐藤栄修、高橋和久、田口敏彦、千葉一裕、出沢 明、徳橋泰明、中村博亮、富士武史、星野雄一、山下敏彦、米 和徳

【出席した監事】佐藤哲朗、里見和彦

【オブザーバー】永田見生（第41回日本脊椎脊髄病学会学術集会会長）、野原裕（第40回日本脊椎脊髄病学会学術集会会長）

【議事の経過の要領及びその結果】

菊地臣一理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

決議事項

1 第1号議案 入退会及び会員資格喪失承認の件

佐藤栄修理事は、資料1に基づき、一般会員15名、専門会員16名、特定会員1名、賛助会員1名の入会及び一般会員8名、専門会員12名の退会である旨の報告を行った。なお、2年間の会費滞納者50名が会員資格を喪失する見込みである旨併せて報告し、議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、全員一致でこれを承認可決した。

2 第2号議案 第43回学術集会会長候補者推挙承認の件

菊地臣一理事長は、資料2に基づき、第43回学術集会会長立候補者が田口敏彦先生1名であったことを報告し、議場に諮った。各理事は、慎重に審議し、これを承認可決した。

3 第3号議案 名誉会員承認の件

菊地臣一理事長は、資料3に基づき、里見和彦先生、岡島行一先生、四宮謙一先生を名誉会員として推薦し、議場に諮った。各理事は、慎重にこれを審議し、満場一致で承認可決した。なお、千葉理事から名誉会員推薦の申し合わせを作成する旨の提案があり、各理事は、慎重に審議し、定款等検討委員会に検討を依頼し、次回理事会で検討することを決定した。

4 第4号議案 評議員選考委員会委員承認の件

菊地臣一理事長は、資料4に基づき、評議員選考委員会委員候補者を示し、議場に諮った。各理事は、これを慎重に審議し、承認可決した。

5 第5号議案 教育研修施設審査結果及びフェロー募集告知承認の件

米和徳理事は、資料5に基づき、教育研修施設審査結果報告を行い、48施設の認定について議場に諮った。各理事は、これを慎重に審議し、承認可決した。併せて、フェロー募集告知案の提示もあり、各理事は審議の結果、これを承認可決した。

6 第6号議案 指導医資格審査結果承認の件

山下敏彦理事は、資料6に基づき、名誉指導医2名、新規98名の合格と、82名の資格継

続及び7名の資格継続申請猶予について議場に諮った。各理事は、これを慎重に審議し、承認可決した。なお、資格申請を行わず、資格を失効する指導医は12名であることもあわせて報告された。

7 第7号議案 指導医募集会告案承認の件

山下敏彦理事は、資料7に基づき、平成24年度新指導医ならびに資格継続申請に関する会告案について詳細な説明を行い、議場に諮った。各理事は慎重に審議し、原案を承認可決した。

8 第8号議案 アジアトラベリングフェロー及びビジティングスカラープログラム選考結果承認の件

富士武史理事は、資料8に基づき、第7回アジアトラベリングフェロー及びビジティングスカラープログラム選考結果報告を行い、議場に諮った。各理事はこれを慎重に審議し、審査結果について承認可決した。

審議・報告事項

9 第40回学術集会終了報告の件

野原裕前会長は、資料9に基づき、学術集会決算報告を行った。本会より交付された補助金は返還し、さらに残金は震災義捐金にあてたことなどの説明があった。

10 第41回学術集会に関する準備状況報告の件

永田見生会長は、資料10に基づき、第41回学術集会準備状況報告を行った。応募演題は1026題、採択数は670演題で、採択率65.3%とかなり厳しい結果となったことなどの説明があった。

11 各種委員会

a. 安全医療推進委員会

田口敏彦理事は、資料11に基づき、脊椎脊髄手術合併症アンケート調査データベースユーザーマニュアルが完成した旨の報告を行った。なお、データ収集促進のためのインセンティブとして、指導医に医療安全単位を与えることを提案し、各理事はこれを慎重に審議し、承認した。

b. 技術認定委員会

出沢明理事は、資料12に基づき、JESMISS会員を対象とした頸椎内視鏡手術の現況調査について結果報告を行い、本会に追い得て安全なレーザー手術実施のための指針を作成する提案を行った。各理事はこれを慎重に審議し、作成は時期尚早であるが、新技術導入の際には倫理的な基準を満たす必要がある旨の声明を、新技術評価検証委員会に作成するよう付託した。

c. 教育研修委員会

米和徳理事は、資料13に基づき、平成23年度クリニカルフェローシップ並びにアドバンスコース研修状況報告を行い、クリニカルフェローシップ研修者には、平成24年度会員総会において認定証を授与する旨、併せて報告を行った。また第10回脊椎脊髄病研修コースの準備状況についても説明を行った。

d. 広報委員会

山下敏彦理事は、資料14に基づき、ホームページのバナー広告募集要領に関し、対象は賛助会員、募集枠は6枠であることなどの報告を行った。

e. 国際委員会

富士武史理事は、資料 15 に基づき、English Poster Award の運営方法及びフェロー受入れ施設への感謝状発行について詳細な報告を行った。

f. JSR 編集委員会

星野雄一理事は、資料 16 に基づき、第 3 巻の収支予測、広告募集結果、オンライン化等について詳細な報告を行った。なお、各団体の特集号で超過ページが発生した際には、その代金に相当する広告で充当する可能性があることについて説明が行われた。なお、編集委員の交代について次の通り報告があり、各理事は、これを審議し、承認した。

辞任委員：東永廉委員、南昌平委員

新委員：赤澤努委員（任期:平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年定時評議員会終了の時まで）

長谷川和宏委員(任期:平成 24 年 1 月 21 日～平成 24 年定時評議員会終了の時まで)

g. 新技術評価検証委員会

加藤真介理事は、X-STOP 使用ガイダンス変更の要望を受けて委員会で審議した結果、現在のガイダンスを維持することが委員会の方針である旨の報告を行い、各理事の承認を得た。理事会は、同理事に要望に対する回答を行うよう依頼した。

h. 診断評価等基準委員会

川上守理事は、資料 17 に基づき、JOABPEQ、JOACMEQ マニュアル書作成に関する報告を行った。なお、印刷業者南江堂の希望である、同書の一般販売に関しては、税金対策を徳橋泰明財務理事に依頼し、許可することとした。また、ホームページ掲載箇所の見直しについては、山下広報理事が対応する。同理事は、学会主導研究のインセンティブを指導医資格継続申請の際の 10 症例とする提案について詳細な説明を行い、各理事の承認を得た。

i. 専門医制度委員会

中村博亮理事は、資料 18 に基づき、suspecialty 領域専門医設置に向けて日本脊髄外科学会との第 1 回作業部会を開催し、作業を開始した旨の報告を行った。

j. プロジェクト委員会

高橋和久副理事長は、資料 119 に基づき、脊椎性疼痛研究の終了とそれに伴い当該特別会計を閉じる旨の報告を行った。これにより残金は一般会計に繰り入れることが承認された。なお、第 41 回学術集会において紺野慎一先生が DISTO project の結果報告を行うことも併せて報告された。

12 登記変更手続き遅延状況報告並びに顧問弁護士嘱託検討の件

千葉一裕理事から、2010 年の役員変更に関する登記変更手続きが大幅に遅延し、過料が発生する可能性がある旨の報告が行われた。各理事はこれを慎重に審議し、業務指導内容を具体的に記載する嘱託案を提案し、承諾された場合に契約を更新するとして千葉理事に依頼した。

その他

・事務局所在地移転報告の件

徳橋泰明理事は、平成 23 年 12 月に事務局移転を完了した旨の報告を行った。

・NASS 2011 Leon Wiltse Award 授賞報告の件

千葉一裕理事は、金田清志名誉会員が NASS 2011 Leon Wiltse Award を受賞し、同時に

NASS より東日本大震災への義捐金を本会代表として受理していただいた旨の報告を行った。

- 平成 23 年度各種委員会報告作成依頼の件
千葉一裕理事は、各委員会に平成 23 年度委員会活動報告を A4 用紙 1 枚にまとめ、2 月末日までに学会事務局に提出するよう依頼した。
- 各種委員会新委員候補者リスト作成依頼の件
千葉一裕理事は、資料 21 に基づき、任期満了委員を示し、3 月末日までに任期満了委員の倍数の候補者を事務局へ届け出るよう依頼した。
- ワーキンググループの継続/解散確認依頼の件
千葉一裕理事は、現在あるワーキンググループすべてに対し、今後の活動を継続するか否かを次回理事会にて報告するよう依頼した。
- 事務局業務の外部委託報告の件
千葉一裕理事は、事務局の経理業務を外部委託とし、今後の運営について検討を進める旨の報告を行った。
- 次回理事会等開催の件
千葉一裕理事は、次回理事会の開催予定を確認し、これに先立ち評議員選考委員会が予定されている旨の案内を行った。

所要の議事を全て終了したため、議長は、閉会を宣言した。

以 上

平成 24 年 1 月 20 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会
議長 理事長 菊地 臣一

監 事 佐藤 哲朗

監 事 里見 和彦